「これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さな者のひとりにしたのは、わたしにしたのです。」マタイ 25:40

2013 年 12 月 15 日

聖望キリスト教会/ Holy Hope Project

単立教会　東北支援プロジェクト

聖望キリスト教会
Holy Hope Project
竹下　力・静

■2013 年 6～12 月活動報告

従来の単立三教会への支援から関係も広がり、他の教団・教会による仮設住宅コンサート活動にもつながっています。

6 月 21～24 日　石巻市他　パク・カンシク、Migiwa、竹下　静による被災地コンサート。(協力:単立・石巻祈りの家他)

7 月 6 日　　宮城県　山元町　みなし仮設住宅の集会所コンサート(企画:保守バプ・船岡聖書バプテスト教会有志)

8 月 10 日　宮城県名取市閖上(ゆりあげ)　みなし仮設の集会所コンサート(企画:保守バプ・船岡聖書バプテスト教会有志)

8 月 11 日　仙台市　単立・シーサイドバイブルチャペル　(内藤智裕師)礼拝奉仕(説教・賛美)、市内仮設住宅でのコンサート。

10 月 26 日　石巻市・渡波仮設住宅コンサート　(企画: アライアンス・石巻ニューライフセンター)

11 月 30 日　相馬市・大野台　仮設住宅コンサート　(協力:単立・原町聖書教会／主催・同盟・相馬キリスト教会他)

南相馬市　単立・原町聖書教会　クリスマス・ホームコンサート

12 月 1 日　南相馬市　単立・原町聖書教会　アドベント賛美礼拝奉仕(説教・賛美)

■11/30-12/1　南相馬レポート

11/30　相馬市大野台仮設住宅コンサート

原町聖書教会の皆さんと

原発から 22Km にある南相馬の単立・原町聖書教会へ。

11/30 には、教会の紹介で相馬市にある仮設住宅でコンサートを行いました。

この仮設は、放射線量の高い飯館村の住民の方が計画避難によって集団入居されています。

来場してくださったのは、ほとんど高齢者の方々。お年寄りがお年寄りの手を引き、また車椅子を押していらっしゃる状態。介護問題も同時に抱えていることが容易に察しがつきます。働き盛り、子供のいる若手世代は外部へ流出、村として機能も失われ、2、3 年では帰れないのが実情。放射線による影響は、5 年、10 年単位の複合的な問題を生み出しています。

11/30 の夜には、原町聖書教会でのホームコンサートの奉仕、12/1 にはアドベント賛美礼拝として賛美と説教奉仕をさせていただきました。昼食の交わりの後には、原発から 20km 圏内、警戒立入禁止区域となる浪江町との町境にある牧場を視察してきました。

警戒区域の浪江町境にある牧場

線量系は 4.03μSV

線量計の数値は 2.7μSV（マイクロシーベルト）～4.03μSV。風向きでかなり変わります。我らが市川市が約 0.07μSV、新宿が約 0.03μSV ですから、40～100 倍の線量ということになります。人の居住は許されず、飼育ができないため、牛たちは放たれたままになっていますが、やせ細っていました。

これらが「アンダー・コントロール」の元で行われているのなら、故意もしくは無視と言うことになります。まずは事実を知ること、伝えること。決して、その場凌ぎ的な言葉に「コントロール」されてはいけないことを痛感いたします。

来年も引き続き、細くても長く、南相馬、また石巻、仙台、さらに岩手にも活動を広げていきたいと願っています。

■聖望キリスト教会では、被災地にあって、地域に根ざした支援を行う小さな単立教会を中心に復興支援を行なっています。

・経済的援助　・現地訪問と現地レポート(顔の見える支援・交流)　・教会活動のお手伝い(説教、奏楽、音楽コンサート)

〒272-0034　市川市市川 3-37-11　聖望キリスト教会　東北支援係　(教会 TEL.047-321-3343　大竹)

郵便振替　00160-7-462934「ホーリーホーププロジェクト」※通信欄に東北支援と記入 (担当:竹下　TEL 080-5460-1766)